

平成 19 年度事業報告

〔平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日〕

I 主要事業日程

- 4 月 24 日 第 1 回理事会（東京ガーデンパレス）
- 5 月 14 日 通常総会・創立 10 周年記念事業（ホテルニューオータニ）
- 7 月 24 日 第 1 回専門委員会（東京ガーデンパレス）
- 8 月 3 日 一般向け啓発事業審査会（協会事務所）
- 8 月 22 日 FS 養成機関研修会（～23 日、アルカディア市ヶ谷）
- 9 月 3 日 専門委員会第 1 回会報分科会（協会事務所）
- 9 月 18 日 専門委員会第 1 回出題調整分科会（東京ガーデンパレス）
- 10 月 2 日 専門委員会第 2 回出題調整分科会（東京ガーデンパレス）
- 10 月 29 日 第 2 回専門委員会（東京ガーデンパレス）
- 10 月 31 日 専門委員会出題調整最終打合わせ（協会事務所）
- 11 月 12 日 第 2 回理事会（東京ガーデンパレス）
- 11 月 27 日 アグリビジネス創出フェア出展（～28 日、東京国際フォーラム）
- 12 月 5 日 専門委員会第 2 回会報分科会（協会事務所）
- 12 月 16 日 フードスペシャリスト資格認定試験
- 12 月 18 日 臨時総会（協会事務所）
- 1 月 15 日 第 3 回専門委員会（東京ガーデンパレス）
- 1 月 22 日 第 3 回理事会（アルカディア市ヶ谷）
- 2 月 4 日 専門委員会カリキュラム分科会（協会事務所）
- 3 月 4 日 専門委員会研修分科会（協会事務所）
- 3 月 6 日 第 4 回理事会（協会事務所）
- 3 月 26 日 専門委員会第 3 回会報分科会

II 事業内容

1 教育内容の企画、指導及び助言に関する事業

（1）カリキュラムの検討・制定等

フードスペシャリスト養成カリキュラムに食育論〔学〕食生活論〔学〕等を導入することにつき、前年度に引き続き専門委員会において検討した。

（2）インターンシップ制度導入の検討

フードスペシャリスト養成カリキュラムにインターンシップ制度を導入することにつき、前年度に引き続き専門委員会において検討した。

（3）協会指定テキストの改訂等

協会指定テキストにつき、増刷時に誤記修正や古くなったデータの入れ

替えを行ったほか、「新版食品の官能評価・鑑別演習第3版」を2月に、「新版食品の消費と流通」を3月末に刊行した。

2 フードスペシャリスト資格認定試験事業

(1) 第9回フードスペシャリスト資格認定試験の実施

12月16日、第9回フードスペシャリスト資格認定試験を全国158校で実施し、7,095人が受験した。1月15日の専門委員会における合否検討の結果、5,526人が合格した。

(2) フードスペシャリスト資格認定証の交付等

フードスペシャリスト資格認定試験の合格者のうち申請のあった者5,406人にフードスペシャリスト資格認定証を交付した。併せて、フードスペシャリスト資格を優秀な成績で取得した者に対し、表彰状を授与した。

3 フードスペシャリスト養成機関認定事業

専門委員会における審査結果を踏まえ、理事会で検討の結果、次の10学科等を新たにフードスペシャリスト養成機関として認定することになった（*印は既存正会員からの追加申請）。

名古屋文理大学 健康生活学部 フードビジネス学科

大阪国際大学短期大学部 ライフデザイン総合学科

* 甲子園大学 栄養学部 フードデザイン学科

新潟大学 教育学部 生活科学課程 生活科学コース

〃 〃 学校教員養成課程 教科教育コース家庭科教育専修

〃 農学部 応用生物化学科

東海学院大学 健康福祉学部 食健康学科

福山大学 生命工学部 生命栄養科学科

* 鈴峯女子短期大学 食物栄養学科製菓コース

今治明德短期大学 ライフデザイン学科 食物栄養専攻

4 助成、研究、研修等に関する事業

(1) フードスペシャリスト奨学基金助成事業

フードスペシャリストを目指す外国人留学生に奨学金助成を行うことにより（平成24年度から2・3名に月額30,000円程度を1年間支給することを想定）優れた留学生の確保及び国際化に対応した人材の育成を図ることを目的とし、1億円規模の基金を造成することを計画し、平成19年度は10,235,252円を積み立てた（造成済額71,000,000円）。

(2) 研究・調査等

平成18年度にフードスペシャリストの資格を取得した者を対象に、就職

状況に関するアンケート調査を行い、その結果を会報及びホームページに掲載した。また、フードスペシャリストと類似した海外の資格制度調査の足掛かりとして、食に関する国内の資格制度の情報収集を行った。さらに、現行のフードスペシャリストの上位資格に位置する、新たな資格制度の創設の是非を検証するための調査・研究に着手した。

(3) 研修会、シンポジウムの開催

8月22-23日、正会員向けに、フードスペシャリスト養成機関研修会を開催した。研修会の結果については、ホームページ上で公開した。

新たに、正会員校による食に関する一般向け啓発事業の推進を図ることとし、以下の事業につき、協会が共催し、助成した。各事業の結果はホームページに掲載した。

別府大学	高校家庭科担当教員の料理講習会と講演会
愛知学泉大学	朝ご飯食べていますか？ - 朝食が体に与える影響
神戸女子短期大学	第3回『食育』シンポジウム
昭和学院短期大学	講演会『健康は食卓から創られる』
青森中央短期大学	公開講座『雑穀つぶつぶクッキング』
鳥取短期大学	ふるさとの味 - 鳥取の食文化と正月料理 -
神戸山手短期大学	産直野菜を使った親子料理教室
東京聖栄大学	小学生を対象とした食育イベント『サンデークッキング』
美作大学短期大学部	食育を考える『伝統料理に学ぶ健全な食生活』

5 情報の収集及び提供に関する事業

(1) 会報の発行及び配付

協会の会報「NEWS LETTER」を5月（前年度分ずれ込み）、7月、11月、3月の4回、各2,000部発行し、会員、関係機関に配布した。

(2) 広報活動

ア ホームページのデザインを一新し、一層見やすいものとした。併せて、養成機関研修会における講演、会報、一般向け啓発事業の結果等を掲載し、フードスペシャリスト資格取得者及び幅広い国民に向けた食の情報提供媒体としての性格を持たせた。

イ 食品関係の学部学科等を有しながら当協会に加盟していない大学、短期大学に対し、パンフレットを送付し、入会を呼びかけた。

ウ 食品産業関係者にフードスペシャリスト資格を紹介するため、5月14日の協会設立10周年記念事業に食品関係団体・企業を招待し、11月27-28日には「アグリビジネス創出フェア2007」へ出展したほか、個別企業訪

問にも取り組んだ。

エ 「全私学新聞」(全私学新聞運営委員会)年1回、「日本食糧新聞」(日本食糧新聞社)年6回、「栄養と料理」(女子栄養大学出版部)年12回、「日本食生活学会誌」(建帛社)年4回、「全栄施協月報」(全国栄養士養成施設協会)年12回、フードスペシャリストのPR広告を掲載した。

(3) フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集の発刊

本年2月20日、「2008年版フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集」を発刊した。発刊に当たっては、新たに簡便な解説をつけた。

(4) 養成機関への資料提供

フードスペシャリスト養成機関に対し、農林水産省その他関係団体から提供された各種資料を配布した。

6 その他

5月14日に、協会設立10周年記念事業を行った。